

1 . 調 査 報 告 概 要 表

作成日 平成 2 0 年 1 2 月 1 7 日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 2 4 0 2 1 2 5
法人名	社会福祉法人 美郷会
事業所名	グループホーム美郷
所在地	枚方市西招提町 1 2 5 3 (電 話) 0 7 2 - 8 6 6 - 7 0 2 7

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 1 1 月 2 9 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 1 0 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 5 年 1 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 5 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	5 7, 7 5 0 円	その他の経費 (月額)	2 5, 0 0 0 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 2, 0 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 1 0 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	1 名	要介護 2	3 名
要介護 3	2 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 9. 1 歳	最低 8 4 歳	最高 9 5 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム 1 階のデイサービスセンターに隣接したグループホームです。『一人ひとりの個性や生き方を尊重します』『一緒に暮らし支えあいます』『地域との繋がりを大切にします』の理念の実践に向けて職員は日々取り組んでいます。更に『利用者さんのペースに合わせて職員が動く。(業務を優先しない)』を今年の目標に努力しています。広い庭があり歩きやすい歩道がついていて、育った花木を眺めながら楽しめます。庭の一隅に菜園を作り、朝食の新鮮な食材となっています。ホームでは週 1 回は利用者の好みの献立の夕食を皆で調理します。また、おやつも手作ります。他の日は昼・夕食は併設の厨房から届けてもらっています。職員は利用者に寄り添う時間の余裕ができます。敷地内に提携している総合病院があり、医療面での協力体制ができており家族も安心しています。この 1 年入退居がなく、落ち着いた暮らしを実現しています。地域との交流や家族との交流の機会が増えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部 4) 昨年の外部評価結果を会議で検討し、改善に向け工夫・実践しています。今年は外部研修に 5 回参加し、また会議・勉強会で報告を行い、資料は回覧伝達しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部 4) 今回の自己評価は、職員の意見を基に作成して全職員に回覧し、周知しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部 4, 5, 6) 運営推進会議は概ね 2 ヶ月に 1 回開催しています。地域包括支援センターの職員や民生委員から地域の行事などの情報を得て、参加につなげています。地域のグループホーム連絡会には市の担当者の参加もあり、情報を得てサービスの向上に活かしています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部 7, 8) 玄関脇に意見箱を設置するとともに家族アンケートを実施したり、家族会を開催して、意見・要望を伺いサービスの向上に努めています。また、個別に状況報告を電話や手紙で伝えることにより、以前は面会の回数が少なかった家族も 2 ~ 3 ヶ月に 1 度の訪問に増えました。行事の時にも家族に参加していただいています。
重点項目③	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部 3) 地域の自治会との交流が深まり『ふれあい祭り』や老人会に参加しています。保育園児との交流や小学生との年賀状の交換や昼食会への参加などの交流もあります。近所の公園への散歩時近隣の方と親しく挨拶する等でグループホームを認知してもらっています。ボランティアの方の訪問が毎週あります。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念として、『①一人ひ とりの個性や生き方を尊重し、その人らしい 生活が送れるように支援します。 ②一緒に 暮らし、支えあうことの楽しさを実感できる グループホームを作りあげます。 ③地域と の繋がりを大切にしていきます。』以上の3点 をあげて、玄関に掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関への掲示により、職員、利用者、家族に も浸透してきています。会議やカンファレン ス時には理念を念頭に入れて話し合いに取り 組んでいます。更に、『利用者さんのペースに 合わせて職員が動く。(業務を優先しない)』 を今年の目標として定め、日々努力していま す。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の自治会との交流が深まり『ふれあい祭り』や老人会に参加しています。夏祭りの神輿もホームに立ち寄ってくれます。保育園の『運動会』を応援に行ったり、園児がホームを訪問したりの交流があります。小学校を老人会の方と共に訪れ、児童と一緒にコンサートを聞き、輪になってゲームなどを行い交流しています。児童とは年賀状の交換なども行っています。法人の夏祭りには更に近隣住民の参加を呼びかけたいと考えています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を会議で検討し、改善すべき点は改善に向け工夫実践しています。今回の自己評価は職員の意見を基に作成し、全員に回覧し周知しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加メンバーの都合により8月は開催できませんでしたが、運営推進会議は概ね2ヶ月に1回開催しています。地域包括支援センター職員や民生委員から地域の行事などの情報を得ることができ、参加につなげています。利用者や家族からの意見を聞き、サービスの向上に活かしています。今後も運営推進会議を年6回開催することが望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター主催の『地域のグループホームの連絡会』には市の担当者の参加もあり情報を得ています。介護相談員派遣事業に関するアンケートなどに応じて有効的な相談事業になるよう依頼しています。市主催の『地域密着型サービスに関する』集団指導などに参加し、サービスの質の向上の参考にしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には日頃の様子を伝えています。法人の新聞は毎月発行し、グループホーム独自のふれあい誌「陽だまり」を年3～4回発行し、グループホームの行事予定、職員の移動や紹介などの情報を写真と共に載せています。面会が少ない家族には個別の情報も同封しています。金銭管理は「小口現金預かり帳」のコピーを毎月送っています。現金を預かった際には「預かり帳」に家族による確認サインの徹底が望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートを実施し、また年1回『家族会』を開催し多くの参加を得て、家族からの要望や希望を聞く機会を作っています。意見・要望等は会議で話し合っています。玄関脇に意見箱を設置しています。「苦情・要望書」を作成し職員全員に内容・対策について周知改善に努めています。家族と電話連絡を行った際の応答内容は、個別に『家人連絡簿』を設け記録し、職員は把握しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者・計画作成担当者は開設以来、交代がなく、利用者・家族は安心しています。今年度は職員の法人内異動・離職が数名ありましたが、新任職員がスムーズに業務に慣れるようマニュアルを作成し、対応しています。新任職員はふれあい誌に写真と共に紹介しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の内部研修は年間計画を立て毎月 1 回研修があり、参加しています。グループホーム独自でも 2 ヶ月に 1 度課題を出し、勉強会を行っています。「感染症」「緊急時対応」「認知症」の研修も行っています。欠席者には研修資料を回覧し共有しています。外部研修について今年は 5 回参加し、会議・勉強会で報告を行い、資料は回覧伝達しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の 7 つのグループホームが集まり連絡会を開催し、認知症ケアの問題点や取り組みについて話し合いの機会を持っています。お互いのホーム見学も実施し交流しています。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の生活の情報を本人や家族から得て、本人のペースで生活できるよう援助しています。この3年4ヶ月の間に新しく入居された方はおられず、従来どおり家族とも相談しながらホームの生活に馴染んでいただいています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なことは積極的に取り組んでいただいております。来客にお抹茶を点ていただいたり、花を活けていただいたり等、職員が学ぶ立場になることもあります。利用者が時事ニュース評などを書いて掲示したものをヒントに会話が弾んでいます。また、利用者の状態に応じて、日常の家事を共に行いながら、信頼関係を築いています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めています。周辺症状が進んでいる利用者に対してもカンファレンスを行い、行動制限をせず、見守ることによって本人の思いを重視したケアを実践しています。意思疎通の困難な方は、家族から情報を得ています。訴えの多い利用者に対しても希望を聞きながら、寄り添い不安感を取り除いています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は居室担当を決めており、会議やカンファレンスでの検討材料を提示し、職員全員で話し合い必要な対応を介護計画に反映させています。個別の『家人連絡簿』により、家族の意見を把握しています。作成した介護計画は利用者や家族の同意サインを得て、公布しています。職員全員の確認印があります。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月ごとに見直しを行っています。また、認定審査により介護度が変更になった場合も介護計画を見直しています。利用者ごとの『ケアプラン実施・モニタリング表』には短期目標を記載し、毎日のケアについて確認し評価しています。カンファレンスでも見直すべき内容をその都度検討して変更し家族にも伝えていきます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接している同法人グループの病院や在宅医療部と連携し、緊急時に対応しています。かかりつけ医への受診等を家族に代わって実施しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1度主治医が往診しています。また、必要に応じて精神科・歯科など専門医への受診を支援しています。本人や家族の要望を受け、状態の安定している利用者は往診を2週間に1度に留めて、必要以上の投薬や検査を回避するよう対応しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	これまでにホームでの看取りはありません。本人・家族等に対し、重度化の際や終末期の対応についての意向を確認し、文書を交わしています。必要時には、医師、看護師、職員と家族と対応を話し合う予定です。マニュアルを作成し、家族会のときに説明しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関する規定等が定められ、職員は周知しており、誓約書を交わしています。日々の介護の場面でも、利用者の誇りやプライバシーを大切にしたい穏やかな言葉かけや対応を行っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホーム独自の理念のもと、毎年目標を定めています。今年の目標は『利用者さんのペースに合わせて職員が動く（業務を優先しない）』を掲げ、できるだけ利用者の体調や希望に合わせて寄り添うケアを心がけています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食はグループホームで作ります。玄関脇の菜園の新鮮な野菜を食材に活用し喜ばれています。昼・夕食は併設の厨房からの提供ですが、盛り付ける惣菜の匂いを身近に感じることで食欲を促すため、盛り付けを利用者と共に行っています。週に一度は利用者の好みの献立を取り入れて、夕食をホームで調理しています。またおやつもスイートポテトや、大福を手作りし、片付けや食器拭き等も利用者と共に行います。職員は利用者と共に食卓を囲んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は隔日または、週3回利用者の希望を聞き、入っていただいています。午前中の入浴を希望される方、一番風呂を好まれる方の要望に添って、入浴を楽しめるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴や得意なこと、趣味などを家族からも情報を得て、それぞれに合わせた楽しみごとに取り組んでもらっています。毎週土曜日にはボランティアとの囲碁対決を自室で楽しむ方、家族のためのクリスマスプレゼントを編む方、食器洗いや洗濯たたみ等の日常的な家事は忘れずに協力してくださる方、庭の草花の手入れや菜園の収穫を行い、鉢植えには利用者毎の名前をつけ、夏には朝顔、春にはチューリップの花の咲き具合を競い手入れする等、気晴らしの支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設の特養事務室への朝・夕の新聞取り、広い庭の散歩、コンビニへの買い物、希望により本屋にも出かけます。月に1回の行事や外食など外出の機会を設けています。入居前より体重が増えた方の減量のために、戸外への散歩の機会を増やす支援も考慮しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は利用者が自ら施錠している方以外は開錠しています。日中玄関は開いており、チャイムで出入りを察知しています。広い庭に続く門扉は施錠していますが、玄関脇に暗証番号を示してあります。利用者は併設のデイルームに続く扉から自由に入出りができ、事務室まで新聞を取りに行き、テラスや庭に出ることもできます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方、誘導方法、避難場所の指導を受け、マニュアルを作成し、職員は把握しています。合同訓練実施前に2回ほど利用者と予行訓練をします。災害（地震）時の退避場所も検討し、誘導などについても周知しています。また災害時の備蓄品を準備し、食品などは定期的に交換しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の毎日の食事摂取量や水分摂取量を把握し、個人記録簿に残しています。口渇感がなく水分が不足しがちな利用者には特に留意しています。毎月管理栄養士と会議を持ち、利用者の希望や好みについて伝え、献立に反映してもらっています。食材により摂取しやすい形態に工夫しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	門から玄関までの間には季節の花木が植えてあり、歩きやすい遊歩道がついています。外気にあたり安全に散歩できます。庭に面したデッキでお茶会を楽しめます。リビングの壁面には判りやすい季節感のあるカレンダーを掲示してあり、月の後半には翌月分も見える工夫をしています。利用者の習字や時評等の作品を掲示しています。共用スペースは広く、テレビやソファが配置され、利用者は食後にゆったりとお茶をのむ場所になっています。リビングには利用者が昔弾いていたオルガンも置いてあります。利用者が洗濯物を干しやすい、明かり取りの機能も考慮した小さな中庭がリビングに続いてあります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にはベッド、クローゼットが設置してあり、洗面所が付いています。自宅から、タンス・仏壇・机・椅子・テレビ・小型冷蔵庫等が持ち込まれ、それぞれ利用者は馴染みのある居室で過ごせる工夫をしています。壁面にはカレンダー・家族の写真・お誕生日のお祝い写真などを飾り、趣味の抹茶茶碗を飾ったり、お気に入りの縫いぐるみなどを置いたりしています。		